

第19回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成19年2月

応募者名：富山県 高岡市 建設部 道路建設課

事業の名称：都市計画道路下関京田線
電線共同溝整備事業

実施都市名：富山県 高岡市

事業の目的

都市計画道路下関京田線は、高岡市の南部地域からJR高岡駅南口へアクセスする幹線道路で、国宝瑞龍寺や加賀2代藩主前田利長墓所への観光ルートにもなっている。また、2014年に開通が予定されている北陸新幹線新高岡駅へのアクセス道路となることから、電線類の地中化により駅南地区のシンボルロードにふさわしい洗練されたデザインと、歩行者が安全で快適に歩けるバリアフリー歩道にするなど地域の生活環境の向上をも目的として整備したものである。

事業概要（1）

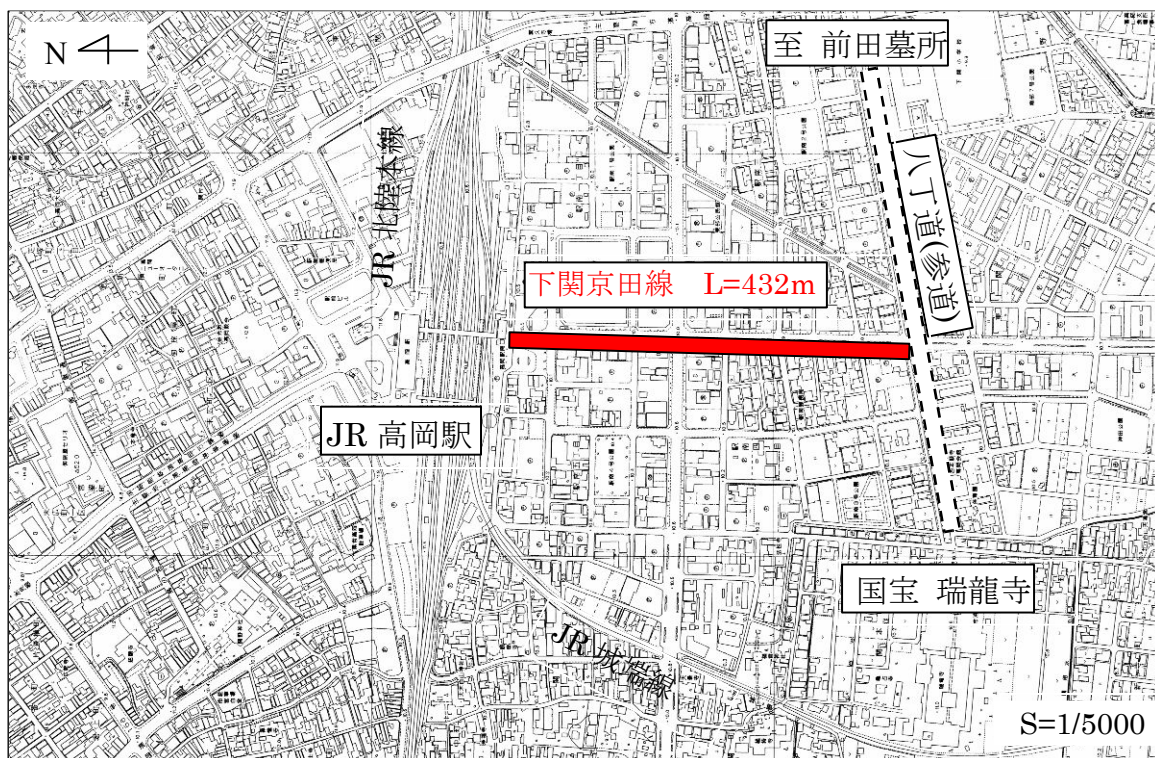
事業名：都市計画道路下関京田線
電線共同溝整備事業
路線名：都市計画道路下関京田線
事業箇所：高岡市駅南一丁目～駅南四丁目
事業延長：432m
幅員：25m（4車線）
総事業費：約6億円
事業期間：平成13年度～平成17年度

事業概要（2）

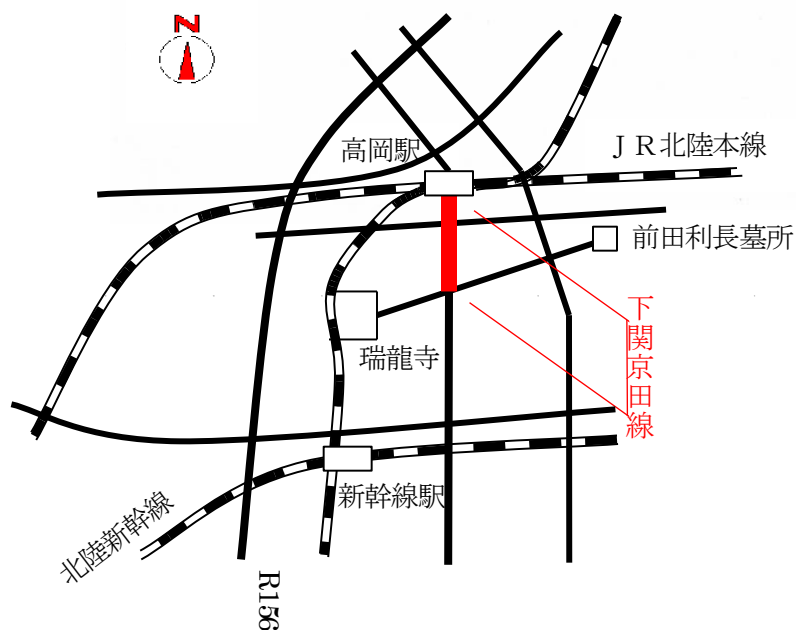
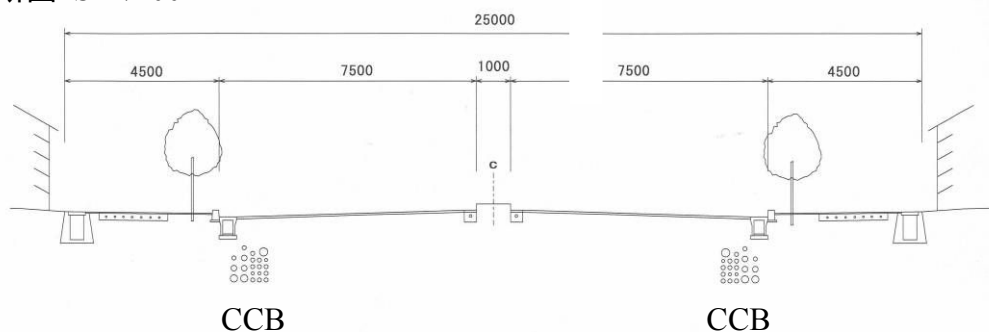
本事業は、電線類の地中化に併せて、従来のマウンドアップ歩道をセミフラット構造にすることにより段差や車乗り入れ部の波打ちを解消しバリアフリー歩道とした。

また、自然石加熱樹脂舗装（カラー舗装）やデザイン照明灯とともに、積雪期も快適に歩行できる無散水消雪（W=2m）を整備することにより、国宝瑞龍寺へのアクセス道路にふさわしい景観と快適な歩行者空間を整備したものである。

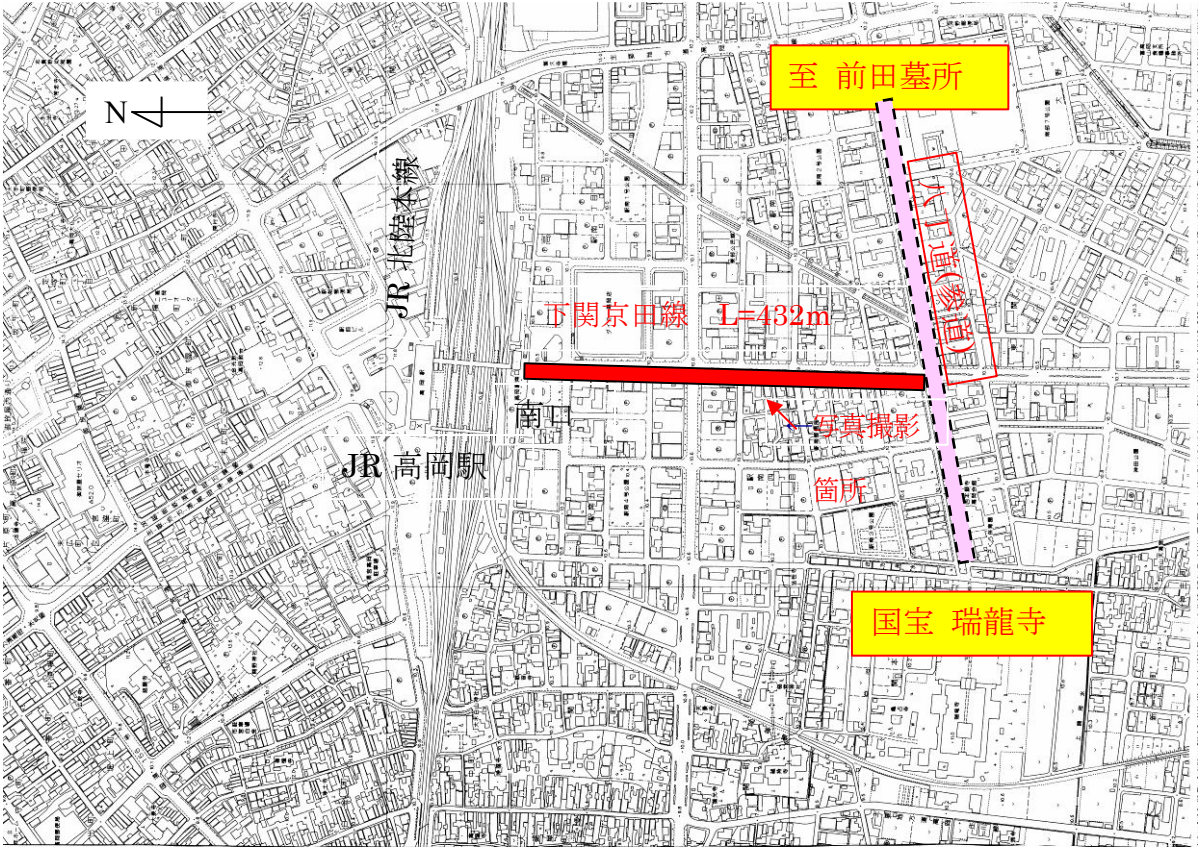
事業位置図



横断図 S=1/100



下関京田線の整備効果アピール資料



事業名:都市計画道路下関京田線
電線共同溝整備事業

路 線 名:都市計画道路下関京田線

事業箇所:高岡市駅南一丁目～駅南四丁目

事業延長:432m

幅員:25m(4車線)

総事業費：約6億円

事業期間:平成13年度～平成17年度

(駅南口方面の写真)



平成16年6月撮影

(整備効果)

- 無電柱化や街路樹の更新による景観の向上
- 無電柱化による防災面の向上
- 夜間照明の充実や視界の改善による防犯面の向上
- 歩道をセミフラット構造にしたことによるバリアフリー化
- 見通しの確保や一般道路との差別化による観光施設（国宝瑞龍寺等）への案内性の向上
- 電線等の撤去による鳥害（フン）の解消
- 歩道無散水消雪による冬季の快適な歩行空間の確保（市単独事業）



平成17年8月撮影

平成15年4月撮影



平成16年6月撮影



平成14年9月撮影



平成16年8月撮影



平成17年8月撮影



平成17年5月撮影

